

広報 た か も り

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611〔代表〕

人 口

—10月31日現在—

人 口 10,016人男… 4,844人
女… 5,172人
世帯数 ……………2,618
転入 48 出生 9
転出 42 死亡 3



とじておくと役立ちます

第184号

昭和49年

12月1日

おもな内容

- 火災シーズン万全の備えを……………(2)
- 国保財政を脅かす「医療費」……………(3)
- 「結婚式」で大受け(畜産センター) ……(4)
- 12月4日から人権週間……………(5)
- この目で見だ中国……………(6)
- 高森その歴史・故事ことわざ辞典……………(7)
- 「税に関する作文」入選作品……………(9)
- 町民文芸・おめでた・おくやみ……………(10)

高森高で火災避難訓練

がとれるようにと行ったもの。
五時間目が始まった直後、火災発生
の校内アナウンスとともにサイ
レンが鳴り、生徒たちは運動場に
避難しました。このあと、消火器
の取扱い方についての説明があ
り、実際に消火器を使つての実施
指導も行われました。

高森高校(福田一
郎校長、生徒六百四
十五人)では、十一
月二十二日午後一宿
直室から出火。延焼
中」との想定で避難
訓練を行いました。
火災シーズンを前
に、火災予防に対す
る認識を深め、災害
時に落ち着いた行動



▷12月1日	平田医院	旭通	②0216
▷12月8日	馬原医院	上町	②0646
▷12月15日	東医院	旭通	②0309
▷12月22日	寺崎医院	白川	②0378
▷12月29日	小林医院	横町	②0075

部旗を披露する高森中剣道部



「振武」の文字も鮮かに

岩下町長がプレゼント

高森中剣道部へ「部旗」

高森中学校の剣道部に、このほど岩下町長から真新しい部旗が贈られ、高森小講堂に内田収入役（町長代理）、藤原剣道部後援会長、町の剣道関係者ら多数が集って引渡し式がありました。

同剣道部は約十年前「戦前から盛んだった剣道を復活させよう」と町の剣道愛好者をリーダーに結成され、現在部員は二十七人、練習は毎日放課後二時間ずつ、後藤幸充（四）や三森 明さん（四九）秋山信一さん（四八）中川清澄さん（五）らが指導にあたっています。贈られた部旗は縦一・七、横二・七の紫地に大きく白字で「振武」と書かれ、校章と高森中剣道部の文字が染め抜いてあります。思わぬプレゼントに部員たちは大喜び。式では内田収入役が「団

銃砲刀・火薬類 犯罪をなくそう

高森署からお願い

最近、銃や刃物、火薬類を使用した犯罪が多くなっています。そこで、警察では今、全国いっせいに、このような凶悪犯罪の未然防止に取り組んでいます。町民の皆さんも次のようなことに協力下さい。

○登山ナイフや「肥後守」などの刃物は不必要に持ち歩かないようにして下さい。

いよいよ年末を迎えました。年賀状の準備はお済みでしょうか。高森郵便局では年賀状や贈答用小包の取り扱いを始めるに当たり、万全の準備をすすめています。年賀状などの差出しは年々ふえる一方で、年の瀬が迫ってからの差し出されずと、せっかくの年賀状が元旦の配達に間に合わないことが多くなっています。

また、あて名書きが十分でないために受取人へお届けできないことも考えられます。

そこで、確実に配達できるように次の事項についてご協力下さい。

○小包は十二月十五日までに

○年賀状は十二月二十二日までに

○日曜は避けて早目に

○あて名はくわしく完全に

年賀郵便は12月22日までに

うにして下さい。

○許可を受けている銃銃、空気銃、登録している刀剣類は、盗まれないよう安全な場所に確実に保管して下さい。

○銃や刀剣類などを発見したり拾ったりしたときは、すぐ警察へ届け出て下さい。

○銃や刃物、爆発物と思われる物を持ち歩いている怪しい人を見かけたら、すぐ警察へ連絡して下さい。

我が国では十二月四日から一週間を「人権週間」と定め、世界人権宣言の精神の周知徹底と国民の人権意識の高揚を図るために、全国的にいろいろの記念行事が行われています。県下においても、熊本地方事務局と県人権擁護委員連合会が中心となり各地で講演会、座談会、特設人権相談所の開設などの行事を実施しています。

今回の人権週間の強調事項は「親子と人権」「親と子の思いやり」です。

親と子の思いやり

12月4日から人権週間

や世代間の断絶などにより平和な家庭、明るい社会をはばむ問題が生じ、お困りの方、お悩み

当職員、地域住民の良き相談相手となつて正しい人権の考え方を広め、楽しい家庭、明るく住

みなさんの周りには社会の複雑、多様化に伴い家庭内の親子間における各人の価値感の変動

の方もあろうかと思われます。各市町村には法務大臣が委嘱した人権擁護委員と法務局の担



畜産センターでの結婚式

「結婚式場」で大受け

開設以来120組も

簡素で低料金が魅力

結婚式の披露宴はとなく批判を受けながらも派手になる一方で、本町の「畜産センター」結婚式は、このところ利用者も多く、なかなか好評です。

畜産センターはさる四十五年三月に完成。これまでに約百二十組が利用しています。ことしは四月の五組を皮切りに五月六組、六月二組、七月四組と十一月末までに二十六組のカップルが誕生。シーズンの十一月は四日に挙式した高森横町、武生国雄さん（二九）大阪、藤森純子さん（二九）夫婦、それに津留下町、平田博喜さん（二五）小国町、森せい子さん（二六）夫婦を含め五組が申し込みました。式は約二十分間で済ませ、その

畜産センター

ま披露宴に利用します。使用料は利用者の数に応じて違いますが、マイク、電気料を入れて、だいたい三千百円程度。ステージが使えて椅子に座り肩が凝らずに低料金の魅力のようです。

式の司会者は同センター管理人の熊谷乾さん（六六）がよくたのまれて行いますが、出席者はほとんど顔見知りなので、心のふれあいがあがり、なごやかな雰囲気です。新生活運動の実践が高く評価されています。

創立100周年おめでとう

草部北部小学校

盛大に記念式典ひらく



草部北部小の百周年記念式場

本町の草部北部小（工藤日押校長、児童六十八人）が今年で創立百周年を迎え、十一月三日午前十時すぎから、同小校庭で記念式典が催され校区あげて祝いました。式典には来賓や同窓生、父兄など約二百五十人が出席、神事のあと本田百周年実行委員長、工藤同小学校長があいさつしたあと、本田教育長、瀬井助役（町長代理）、村上県林務観光部長（同窓生）ら

が祝辞を述べ、続いて同校六年、二子石富長君（二）がお礼の言葉を述べました。

席上、校門前に建てられた百周年記念碑の除幕が長老の本多菊雄さん（六六）と二子石開さん（七）によって行われ、子弟の健康と将来の活躍を願いました。

同小学校は明治七年設立の矢津田教場と明治九年設立の中教場が合併したもので、大正十一年の草

集じん袋のゴミは 手まめに捨てよう

集じん袋の中のゴミがたまりすぎると、吸込む力が弱くなるのでそうじの能率が悪くなって電気の消費量が多くなります。

手まめに集じん袋のゴミを捨てましょう。

チリも積ればといいますが、そうじ機にゴミがたまるとは意外に早いものです。そうじがすんだら、その場でゴミを捨てる習慣をつけましょう。

(九電だより)

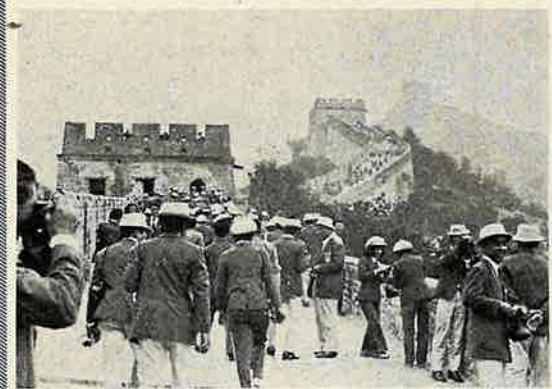
部北部尋常高等小学校が設立された当時までは、両教場存置の状態でし。昭和三年に校舎が落成。同十六年戦時下に草部北部国民学校と一時改称されましたが、同二十二年の学制改革で現在の草部北部小学校に生まれ変わりました。

これまでに、昨年建設したプールを始め、へき地集会所、職員住宅、給水施設など、へき地ながら内容を整え今日を迎えています。

なお、百周年記念事業として実行委員会では、同窓生やPTAなどの寄付金で、さきの記念碑を建立したほか、校旗、児童の遊具施設、視聴覚教材など約百八十万円相当を学校へ贈りました。

九州六県が共同事業として募集した日中友好「九州青年の船」に乗り込み、中国各地を視察して帰った本町上色見の荒牧弘幸さん(三)から「この目で見た中国」のレポートが寄せられました。

中国滞在の期間は短かく、見学した場所も交流した若者の数も限られていたが、荒牧さんの見た中国は全ての人民が建国の意気に燃え、彼らの社会的役割、分担に対する考え方や自覚の度合は日本とは根本的な違いがあったようです。写真はい万里の長城を見学する一行私にとって今回の訪中は、い



この目で見た中国

………上色見 荒牧 弘幸 (21歳) ………



研修が実施された。その主なものとして、中国事情、リーダー養成、レクリエーションの授業や班別活動、クラブ活動などであった。そのほか、討論会や自由交歓などの時間ももたれた。さらに、船側からの歓迎パーティー、さよならパーティーなどの催しもあり、終始なごやかなふんい気の中で研修が行われ実のあるものとなった。また、これを通じて九州各地に多くの友達ができ、大きな成果であった。

△私の見た中国△
九月五日早朝、上海港に到着して、ただちに最初の視察地へバスで移動したが、港や沿道での民衆の歓迎が、ともに熱狂的だったのに圧倒された。

中国での主な視察地は人民公社、国営農場、学校、工場、少年宮、博物館などのほか、万里の長城、天安門など観光めぐりや、上海樂團、中国曲技などの観覧もあった。早朝から夜遅くまで、ぎっしりつまった日程であったが、見るもの聞くもの全てが興味深く、熱のこもった視

察であった。詳しい紹介は他の機会にして、ここでは中国で受けた印象について、私なりの感想を述べてみよう。

まず、私が最も深い感銘を受けたことは、中国人民の全てが建国の意気に燃えていることだ。それぞれの仕事、学問を通じて国家建設に貢献している姿目の輝きが印象深い。

次に、教育が徹底していることだ。全ての教育が「人民のため」「国家建設のため」を基本としてなされている。思想教育はもちろん、道徳教育も徹底している。また、実践に応じた教育、あるいは知育、徳育、体育の総合的評価など目を見はるものがある。

最後に国の基本方針として「農業を基礎とし、工業を導き、国の全面的発展を図る」を掲げていることである。近年さらに敵しさを増す世界の食糧事情を考える時、我が国も、もっと農業の重要性を考え、本腰を入れて農業問題に取り組むべきだ。

以上、簡単に「日中友好九州青年の船」の報告を述べてきたが、私もこの貴重な体験を生かし、郷土高森の発展のために、少しでも役立ちたいと考えている。

食品・添加物の一斉取締り

食品汚染等に対する消費者の関心がいまほど高まっているときはありません。依然として相当数の食中毒の発生をはじめとして、PCB・水銀等による汚染、さらには製造工程の事故等による違反食品が発見されています。

特に、年末から年始にかけては多種類の食品等が短期日に、そして大量に流通する時期です。

そこで、県では十二月一日から二十八日まで例年どおり、県下一斉に食品等の取締りを行います。

【対象施設】 食品の製造所、販売所、飲食店等。

【取締り事項】 食品の製造、加工、調理、取扱及び保存の方法についての監視指導

12月中旬に三種混合を予定

町では本年度二回目の三種混合(百日せき・ジフテリア・破傷風)予防注射を十二月中旬ごろに実施します。

対象者は生後三カ月以上の乳幼児で前回接種済みであること。詳細は回覧にてお知らせします。

高森その歴史

執筆 者 今村 俊男

高森落城、惟直が自刃

武田、山村、津留の奮戦

甲斐宗立が御船城の戦いで島津の軍に敗れ、大友に組していた高千穂の三田井親武は家臣興相新左衛門武昌、馬原右京大夫重昌、甲斐入道宗撰を用いて島津氏に忠誠を誓い、ひそかに大友に叛する謀をめぐらし、豊後直入郡入田の城主、入田義実が大友の家臣でありながら、宗麟を怨んでいることから島津に味方するよう書を送った。

このとき島津の将、新納武蔵守忠元は大友征伐の手がかりとして家臣を高千穂に遣して高森城攻撃を命じた。

高千穂は島津氏に人質を送って味方することを誓っているのに、三田井氏の家老、甲斐宗撰が高千穂勢の大將となつて、野尻、川上柏などの城を破り、馬見原口、一隊は黒岩峠から高森に迫った。

また、総大將の新納忠元は久木野市下等の諸城を降し、本陣を白水村祇園におき、豆塚原から高森に



押し寄せた。時に天正十三年十二月晦日であった。

このとき大友氏は已に衰え、高森を助ける余力もなく、御船、木山を始め、阿蘇家の二十四城悉く陥り、南郷七城これまた落ち、村山、市下、長野、洪川、竹崎、久木野等付近の諸城主、一族郎党悉く

く高森城に集まり、防戦よく努めたが、戦連日々に利なく、僅かに牙城を保つのみとなった。

天正十四年(一五八六)正月二十三日、薩軍あげて三万余騎、高森城総攻撃が始まった。大手の防將武田大和守元実は、到底この大軍の前に城を守ること不可能と思いい、後の間道から主君惟直を落し、「大友家を頼り、この雪辱をそそぎ給え」と精兵二十余人を従えて島津の大軍の中に乱入し大雄刀で奮戦、また嫡子津留大蔵は豪勇の士であり、敵將、蓋北、津奈木の城主で水俣城主深水三河入道頼方が一子、深水撰津介頼則を討取り親子奮戦したが、遂に戦死した。

深水家は相良家の分家で、子の戦死を聞いた道頼(休甫)は悲涙を流し「一もとの花にあやなや春の風」と歎いたという。深水撰津の墓は上在、千本にある。

山村主殿義久は高森家の家老であったが、前二回の戦いで討死、子の宗時、宗久(大学)宗晴、吉昌(小学)悪戦苦斗奮戦したが、兄弟四人いずれもこの戦いで討死した。主殿大学父子の墓は上町に、宗時の墓は西蓮寺にある。なお、この戦いで女、子供は後の千人がくれで自刃、惟直は間道から遁れ

村山の上まで来たが、薩軍に囲まれ、直臣三森兵庫守能因とともに自刃、高森城はここに落城したのである。

自刃の跡は村山から黒岩峠に向う道脇にあり、高森殿杉と呼ばれる大杉や墓石も残っている。また、含蔵寺境内に「雲竜院宝山宗王太居士、天正十四年正月二十三日高森城主惟直」と銘ある惟直の墓があるが、寛永六年に武田儀兵衛元朝が村山から移したもので、惟直の子「孫子」という本があります。これは二千七百年ほど前の春秋時代に呉(一)の国にいた孫武という名将が書いたものだといわれます。

「孫子」の第十一編の「死地」のなかで「死地」というのは、ひるんでいようと滅びてしまふという必死の地である。

この場合は兵が心をひとつにして戦い、活路を開くよりほか方法はない」といっています。

では、どうしたら兵が心をひとつにして、助け合うようになるか、その一つの方法として、次のような例をあげています。

呉とは古くからの敵国なので、人民までが憎みあっている。しかし、もし呉人と越人が同じ渡し舟に乗り合わせたと、大風がおこるとするならば、呉人も越人もふだんの憎しみも忘れて、必死に助け合うだろう。この場合と同じように兵の心をひとつに固めれば、どんな死地でも活路が開ける、というのです。

「呉越同舟」ということばは、ここから出ています。いまでは仲の悪いもの同士が共同の行動をしたり、同席したりする場合よく使われます。

お知らせ

県蚕業講習所の生徒募集案内

五十年年度の県蚕業講習所では次のとおり生徒を募集しています。

▼入学資格 本科Ⅱ高校卒 別科Ⅱ中学卒 ▼修業年限 本科Ⅱ二年・別科Ⅱ一年 ▼受験手続 ①入学願書および履歴書②戸籍謄本一通③最終学校の卒業証明書および成績証明書各一通④身体検査書一通 ▼願書受付 本科Ⅱ十二月一日から二月十日まで。別科Ⅱ二月一日から三月二十日まで。

※ 詳しくは鹿本郡植木町大字岩野三三八一 熊本県蚕業講習所(〒八六一〇一)へ。

50年度の草地畜産研修生を募集

県草地畜産高等研修所では、将来発展が期待される草地畜産の有能な担い手を養成するため、五十年年度の研修生を募集しています。

【人員・期間】 五十名 五十年四月から翌年三月まで一か年間

【応募資格】 高校卒業業者(来年三月卒業予定者を含む)で二十五歳未満の者

【願書受付】 五十年一月五日か

税務相談室のご利用を

税金について困っていることやわからないことはありませんか。そんなときは、税務相談室をご利用ください。ペタランの相談官が皆さんの質問にお答えします。

あなたの住所や名前を言わなくても自由で、また、電話でもご相談に応じます。お気軽にご利用ください。

税務相談室は熊本国税局〇九六三―五五―〇一四、熊本東税務署〇九六三―六九―四四八二です。

手間が省ける振替納税制度

十一月は所得税の予定納税第二期分を納めていただく月ですが、税金を納めるときは「振替納税制

消費生活の苦情は相談員に

激動する社会情勢のなかで私達消費者は、あらゆる面で不安を感じたり、不愉快なことに直面しています。特に昨年の石油危機に伴う一連の物資不足や物価高騰に関する苦情や相談の増加は目を見張るものがあります。

県では、このような消費生活の

車を廃棄した場合は抹消登録を

もし、あなたの自動車がこわれ使わなくなったり、解体した場

山の悪盗遂に仕留められる

陸橋、トウキビ畑など荒らし廻っていた山のギャング、イノシシが一発で仕留められました。

大字中峰の宿の二子石明さん(〇〇)は、このほど自宅近くの山に猟に行き、大イノシシと出くわしました。連れていたシロ、チビの二匹の愛犬が勇敢に追いつめ、二子石さんはすばやくシン弾を込め約三厨ぐらいの至近距離から「ズドン」見事命中。

弾は急所の額に当たり、さすが

の悪盗もよろよろしてぱたり。近所の人に応援を頼み、自宅に持って帰りましたが重さは四十六キ。三〇四歳のメスで、近くの畑地を荒らし廻っていた一味だったようです。

ことしも山東部ではイノシシによる被害を受けた農家が続出しており、二子石さん方もトウキビ三十羽がやられたばかりでした。かたき討ちをはたした二子石さんは「猟を始めて二十三年ほどになるが、一人でイノシシを仕留めたのは初めて」と興奮気味でした。

「税に関する作文」入選作品

熊本国税局が行った「税に関する作文募集」で、本町草部中学校三年の青木洋一君(一五)の応募した作文が七千七百八十六点の中からみごと最優秀賞に選ばれました。

青木君は「税への認識と偏見」と題して、国民一人一人が民主社会における税の働きを正しく理解し、明るく住みよい社会をつくらうとまとめ、これが高く評価されたものです。以下はその作文内容。

作文

私たちは税にとりかこまれて生活しているようなものです。ありとあらゆるものに物品税、酒税、砂糖消費税等の間接税がかかっており、直接には市町村民税、所得税などがあります。けれど「まだ税を払う必要がないや」なんていう人は論外だと思います。

なぜなら間接税は自分たちも納めているようなものだし、自分たちが納めているPTA会費なども一種の税と考えることができるからです。また、直接税もやがて納めなければならないときがくるのです。そして一番重要なことは、なによりもその税が自分たちのくらしに役立っているということです。

こう考えると、当然、税に関心を持たざるを得ないはず。なのに、なぜみんなが税に関心を持っていないのでしょうか。よくおとなの人がいいです。「税金は高すぎるばい」いったいこの言葉は何

税への認識と偏見

草部中三年 青木 洋一

を意味するのでしょうか。「税金は高い」本当にそうなのではないのか。そうではないのです。各国の一人当たり租税負担額が国民所得に占める割合をみると、イギリス(三七・六%)、西ドイツ(三一・七%)、アメリカ(一九・七%)、フランス(二八・七%)、日本(二〇・二%)です。よくわかると思います。

さらに課税最低限所得でも、日本は西ドイツの約二倍なのです。とすると「日本の税金は安い」といえるのですが、一般にはそういうふうな受け取られていない悲しさがあるようです。それには二つの見方がひそんでいて私は考え

ます「税金は高い」と考えられ

がちな第一の見方は、そう考える人の大多数がまちがった税への考えをもっているということです。まちがった税への考えというのは税は強制的に納めさせられるものという考え方です。確かに日本ではそういうふうな解釈されているようで、国語辞典でもそれらしい解釈の仕方になってい

るのです。それでは外国ではどうでしょうか。tax=A sum of money which must be paid for the support of purposes of government (税：政府を支えるため払わなければならない総額)となっています。つまり、日本では国家に主体がおかれ、外国では国民の方に主体がおかれていますといえるよう

です。このような税への認識の相違は歴史からくるのです。民主主義の国というものは、たいてい市民革命をとおしてつくり上げられるものです。清教徒革命、名誉革命、フランス革命、アメリカ独立戦争などを通してできた制度ですから先に述べたような国民主体の考



えとなつて表われるのです。これに対し、日本では封建制の歴史が長く、民主政治の歴史が浅いうえに、外国の干渉によるシャープ勧告によってできた税制だから、これも当然国語辞典のようになるのだらうと思います。封建制社会の時代についてはいまでもありません。こういう歴史からくるイメージは早くなくさねばなりません。

それには税の効用を広く一般に啓蒙する必要があります。一般に啓蒙する必要があるよ

うです。もちろん表面的には納税は強制的ですが、実際、税の回り知れない貢献を考えると、そうでないことがよくわかります。

例を上げると道路、港湾、住宅上下水道、医療保険、年金、生活保護、社会福祉、教育費など。そして地方行政を支える地方交付税などもあります。こういったことをみんなが考えるなら、納税に対する態度が違ってくることでしょ

う。もう一つの「税が高い」という考えの奥底に、税の不平等な徴収ということが考えられるようです。税の中で大きな割合を持つ所得税の不平等さをもちます。申告納税制度にあるよう

により、金持ちは多く納税しなければなりません。ところが、申告をこまかして脱税という手を使う悪人もいます。この申告納税にもただし書きがあり、毎日の取引を一定の帳簿に正確に記入している人に限られ、サラリーマンなどはそうはいきません。給料天引きの源泉徴収ですからこまかしくできません。また、家族旅行を必要経費で落とすことなどはとうていできません。ここに不平等の問題があります。

それでは直接税は課税が難かしいからといって、課税の容易な間接税をふやすと負担が公平になりません。それこそ税の不平等な徴収ということになります。従って税が高いという考えが全然的に射てないわけではないのです。

しかし、こんなことで税への偏見を持つのはまちがいだと思うのです。なぜなら、そのために税務署や議会は苦労しているのです。脱税の摘発、オイルショック当時の不利益の徴収のための特別課税、税制改革などによって税の公平負担に努力しているのです。

以上のことから私はこう考えます。私たち国民一人一人が民主社会における税の働きというものを正しく認識し、偏見を捨て、明るく住みよい社会にして行こうではありませんか。

町民文芸



俳句

野尻あけび句会抄
十一月十日於津留倶楽部

穏やかに紅葉道縫い御興列
刈り終へて仰ぐ大空ちぎれ雲
大霜に生命縮めて紅葉散る
峯々にまだ紅葉燃え峠越す
辛堀りし跡に塚あり二つ三つ
紅葉坂越へて御興はお旅所に
肥後日向交れる渦に浮く紅葉
今日も亦紅葉見る目によな泌みて
一夜座す飯屋御興に月丸し
冬真近大根引に主婦多忙
小商ひ閉めて紅葉を見に出かけ
句碑上の柿熟れ残り四つ五つ
霜深し老松風なく幸あり
味噌搗ぎを済まして浮ぶ母の顔

肥後狂句

御神火会月例会入選句

笑いかぶつて、夜伽祝イ来たつかな
大歓迎、産地直売する野菜
肥え過ぎて、しいらばかりのそば畑
大歓迎、御樽だけの御出席
たまらん、住居作りマ夢の夢
肥え過ぎて弟子いゆずらず当り役
笑いかぶつて親子リレーがゴールイン
たまらん、右も左も大いびき

浦 塚 南 天
岡 本 琴 司
林 田 一 声
馬 原 馬 笑

熊谷つ子
瀬井ほの
野尻里女
甲斐菊江
野尻誓道
草村あつ代
草村鶴代
赤星山雪女
佐藤けさ子
瀬井てる女
長友たつ子
原田健正
熊谷あさ子
瀬井圭子

詩

文化祭に思う

社会 今泉多美江(81)

一、朝夕に手しほにかけて
そだてたる菊のかにほう

文化祭

二、堂いっばい、並べられたる
作品は、つくりし人の、真心

に光りをそえて、胸を打つ
努力のほどぞ、しのばるる

三、年ごとに、盛大になる文化祭
高森町と、もろともに

栄え、栄えよ、すえながく

歌

上色見 後藤 嘉平(85)

よなゆえに紅葉見ずして秋も消ゆ
よなにもまされる災害はなし
噴煙はみやまの神のいたづらか
地震予防に排気するにや

栄天

仔牛生れ山里深く冬に入る
この世相そしらぬ如く紅葉照り
落葉掃くその一葉を拾ひとり
てんてんと残りし紅葉おちこちに
句に生きて愚痴なき余生菊日和
刈り終へて野菊の匂ふ土手につけ
ぎめと言ひばつたと呼びて草紅葉
紅葉浮く流れの果てはいづこやら
草も木も紅に写して夫婦岩
歎歎もよく研ぎ上げて文化の日

香典返し

ありがとうございます

次の方々から町社会福祉協議会
に対して、心援かいご寄付をいた
だきました。故人の冥福をお祈り
し、心からお礼申し上げます。

馬原 その女
福間 宮女
野尻 いくよ
瀬井 せん女
野尻 さだむ
瀬井 英川
熊谷 こう女
熊谷 起代女
熊井 秋雪女
藤原 岳人



◇いよいよ年の瀬も押し迫つてき
ました。何かとご多忙な日々をお
過ごしのことでしょう。十二月と
いえば火災の起こりやすい季節で
す。火の元には十分気をつけまし
よう。
◇ことし一年間、多数のご寄稿を
いただきありがとうございます。

おめでた おくやみ

出生	(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
下町	大津	照雄	里美	女	49.10.14
横町	中川	勝廣	紀子	女	49.10.13
天神	後藤	正記	美紀	女	49.10.16
戸狩	色見	隆夫	貴之	男	49.10.22
冬野	宇藤	文三	亜紀	女	49.11.2
永野	甲斐	裁	美穂	女	49.10.3
下切	工藤	政満	秀司	男	49.10.22
永野	伊藤	房光	靖	男	49.11.4
津留	赤星	武博	真紀	女	49.10.14

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年令)	(死亡年月日)
西丁	宇藤	利晴	妹	宇藤ケサモ	44 49.11.7
下切	甲斐	孝則	母	甲斐トチエ	64 49.10.31
草部	二子	石文雄	父	二子石 肇	65 49.11.7
河原	吉良	山アイ	夫	吉良山 健	43 49.10.17
横町	甲斐	民子	夫	甲斐賀一郎	48 49.11.16